



株式会社 資生堂

第125回 定時株主総会 招集ご通知

SHISEIDO

証券コード 4911

第125回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第125回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の当社企業情報サイトおよび下記「株主総会資料 掲載ウェブサイト」に「第125回定時株主総会招集ご通知」として掲載しておりますので、以下のいずれかのサイトにアクセスのうえ、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

当社企業情報サイト

<https://corp.shiseido.com/jp/ir/shareholder/>



株主総会資料 掲載ウェブサイト

<https://d.sokai.jp/4911/teiji/>



敬 具

記

日 時	2025年3月26日(水曜日) 午前10時
場 所	東京都千代田区内幸町一丁目1番1号 帝国ホテル 2階 孔雀の間
株主総会の 目的事項	報告事項 第125期(2024年1月1日から2024年12月31日まで)事業報告、連結計算書類および計算書類ならびに会計監査人および監査委員会の連結計算書類監査結果報告の件
	決議事項 第1号議案 剰余金の配当の件 第2号議案 取締役11名選任の件

以上

招集ご通知に関するその他ご案内事項

- 電子提供措置事項のうち、次の事項につきましては、法令および当社定款の規定に基づき、書面交付請求をいただいた株主さまに対して交付する書面には記載しておらず、「第125回定時株主総会招集ご通知に際しての法令および定款に基づく書面交付請求株主への交付書面に含まれない事項」としてインターネット上の当社企業情報サイト等に掲載しています。

- | | | |
|-------------------|----------------|--------------|
| ① 当社の新株予約権等に関する事項 | ③ 連結持分変動計算書 | ⑤ 株主資本等変動計算書 |
| ② 内部統制に係る体制 | ④ 連結計算書類の連結注記表 | ⑥ 計算書類の個別注記表 |

- 監査委員会が監査した事業報告は、インターネット上の当社企業情報サイト等に掲載している「第125回定時株主総会招集ご通知」と上記の①②で構成されており、会計監査人および監査委員会が監査した連結計算書類および計算書類は、同じくインターネット上の当社企業情報サイト等に掲載している「第125回定時株主総会招集ご通知」と上記の③から⑥に記載の各書類とで構成されています。

- 電子提供措置事項に修正が生じた場合は、上記インターネット上の当社企業情報サイト等にその旨、修正前の事項および修正後の事項を掲載させていただきます。

株主総会へのご出席・ご参加方法について

会場出席いただく場合



株主総会に
会場出席する方法

総会当日に、本招集ご通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙をご持参いただければ、事前の手続きなくご出席いただけます。

当社は本株主総会より、株主総会会場にご来場くださる株主さまとご来場が難しい株主さまとの公平性等を勘案し、ご来場の株主さまへお配りしていたお土産は取りやめとさせていただきます。何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

株主総会
開催日時

2025年3月26日(水曜日) 午前10時
受付開始時間は、午前9時を予定

会場出席されない場合（事前の議決権行使をお願いします）



株主総会ライブ配信を利用して
ウェブ参加する方法

スマートフォンやパソコン等を用いて遠隔地からでも参加可能です。

- 株主総会ライブ配信のご利用は、株主さま限定です。IDとパスワードでの認証手続きが必要です。
- 株主総会ライブ配信（ウェブ参加）を利用される方は、同封のご案内をご覧ください。
- 総会当日に認証手続きを行い、ログインしてご利用ください。
- ウェブ参加の場合、会社法上の出席に該当しないため、当日の議決権行使や質問はできません。

株主総会
開催日時

2025年3月26日(水曜日) 午前10時
午前9時半より配信開始

株主総会にご出席されない方、ウェブ参加される方は、 いずれかの方法で事前に議決権行使をお願いします。



書面で議決権を行使する方法

本招集ご通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙に議案の賛否をご表示のうえ、ご返送ください。

行使期限

2025年3月25日(火曜日) 午後5時15分到着分まで



インターネット等で議決権を行使する方法

議決権行使ウェブサイト(https://www.web54.net)にアクセスしていただき、議決権行使書用紙に印字の議決権行使コード、パスワードでログインして、議案の賛否をご入力ください。

行使期限

2025年3月25日(火曜日) 午後5時15分完了分まで

QRコードを読み取る方法「スマート行使」

議決権行使コードおよびパスワードを入力することなく議決権行使ウェブサイトへログインすることができます。議決権行使書用紙右下に記載のQRコードを読み取ってください。



(注)「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

議決権行使について

■ 議決権の代理行使に関して必要な事項

株主さまは、当社の議決権を有する他の株主さま1名を代理人として、その議決権を行使することができます。この場合、株主さま、または代理人は、代理権を証明する書面を当社にご提出いただく必要があります。

■ 同一の株主さまが書面および電磁的方法の双方により議決権行使を行った場合の取り扱い

電磁的方法による議決権行使を有効なものとしてお取り扱いします。なお、同一の株主さまが複数回電磁的方法による議決権行使を行った場合は、最後に行われたものを有効な議決権行使としてお取り扱いします。

(注)機関投資家のみなさまは、株式会社ICJの運営する機関投資家向け議決権電子行使プラットフォームをご利用いただくことが可能です。

■ 議決権行使書の賛否の取り扱い

ご返送いただいた議決権行使書において、各議案につき賛否のご表示をされていない場合は、会社提案について賛成の意思表示があったものとして取り扱います。

■ 議決権の不統一行使

議決権の不統一行使をされる場合は、株主総会の日の3日前までに議決権の不統一行使を行う旨とその理由を当社に電磁的方法または書面にてご通知ください。

変化の激しい市場でも 安定的な利益拡大を実現する 強い事業構造へ

代表執行役 社長 CEO 藤原 憲太郎



平素より株主のみなさまにはご支援を賜りまして心より御礼申し上げます。

当社では高収益体質の確立に向けた事業構造改革を進めており、その成果が日本を中心として着実に現れ始めています。一方で、事業環境は依然として不透明感が高く、予断をゆるさない状況です。2025年は「勝負の年」と位置づけアクションを加速します。当社の中長期的な企業価値の最大化に向け、スピード感をもって構造改革と成長基盤の再構築を完遂します。

2024年の成果と課題

厳しい事業環境が続く中、昨年11月に修正したコア営業利益目標を達成できたことは、全社一丸となった努力の成果と捉えています。日本では昨年大規模な経営改革プランを実行。大胆な選択と集中に取り組み、低迷していたコア営業利益率は約10%まで改善しました。また、生活者意識の多様化が加速する市場環境において新価値・新市場の創造に取り組みました。大ヒットを記録した「ファンデ美容液」は代表的な事例です。中国・トラベルリテールでは、消費低下による減収が続く、2025年についても慎重な見立てをしていますが、

2024年第4四半期には減収幅の縮小等、底打ちに向け明るい兆しが見え始めています。米州では、上期に発生したITシステム導入時の生産減は解消したものの、売上回復が遅れました。全社で取り組んでいるコスト削減については、2024年は日本・中国を中心に200億円の効果額を創出し、2025年にも同額規模の効果創出を想定しています。

コア営業利益は364億円と計画を超える黒字を確保した一方で、構造改革費用ならびに、金融費用として引当金[※]を計上したことにより、親会社の所有者に帰属する当期損益は108億円の赤字となりました。当該引当金は2024年のキャッシュ・フローに影響を与えない一過性の要因ではありますが、最終赤字という結果を経営陣一同大変重く受け止め、早急に再起を図るべく、取り組みを加速します。

期末配当につきましては、2024年通期連結業績と今後の見通し等を踏まえ、大変遺憾ではありますが、当初の配当予想から20円減額の1株当たり10円といたします。一刻も早い構造改革の完遂、収益性の向上を実現し、株主のみなさまに対する利益還元を図ってまいります。

[※]2021年に実施した事業譲渡の対価の一部を繰延決済することとしていたものにつき、回収可能性を精査した結果、引当金を計上

アクションプラン2025-2026で取り組む最優先課題

昨年11月、中期経営戦略SHIFT 2025 and Beyondの「アクションプラン2025-2026」と題して、本質的な課題を解決し、持続的な成長を実現するために緊急に取り組むべきアクションを発表しました。厳しい現状を直視し、構造改革を断行することで、予測のつかない市場変化を乗り越えていける強い収益基盤と、決してぶれることなく社会に貢献する価値創造の基盤を構築します。

具体的なアクションの一つが、ブランド力の強化です。これまで以上に選択と集中を行い、注力ブランドを「コア3・ネクスト5」の8ブランドと定め、メリハリのある投資を進め、グローバルで強化・育成します。注力ブランドの価値をより先鋭化するために、当社の強み・競争優位性の源泉である技術力、そして研究開発力をよりダイレクトにブランド価値へと転換させます。

二つ目は、高収益構造の確立です。固定費を低減し、ブランドの成長がしっかりと利益につながる仕組みをつくります。中国・トラベルリテールでは、慎重な見立てをおいた事業計画とし、持続的な利益拡大に向け、コスト構造の適正化と

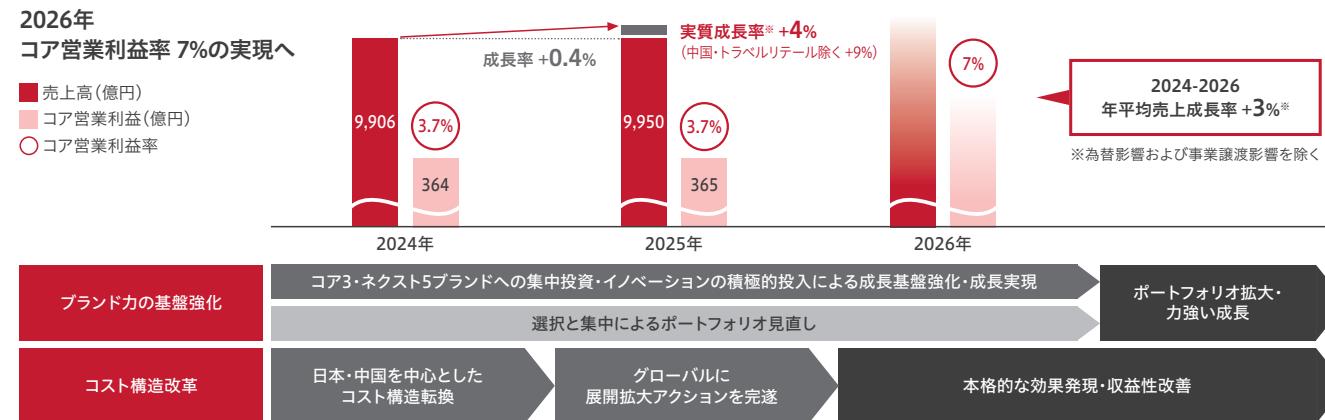
ニーズ多様化を捉え事業機会を最大化できるポートフォリオと組織能力を強化していきます。また、これまで日本と中国を中心に進めてきたコスト削減を他地域にも展開し、グローバルに固定費を中心とした費用の低減と1人当たりの生産性の向上を重視して収益性の改善を図ります。

このアクションプランの完遂を通じて、2024年の2倍レベルであるコア営業利益率7%を2026年に達成することを目指します。

正念場となるこの2年を乗り切るために、すべての施策をグローバルで一丸となり、高い危機感とスピード感をもって、一つのチームとして進めていかなければいけません。事業マネジメントの高度化を推進し、自律的に行動し、結果を出し続ける企業文化を培っていきます。

当社はこれからも、新しい美の価値の発見と創出に挑戦し続けることで企業使命「BEAUTY INNOVATIONS FOR A BETTER WORLD(美の力でよりよい世界を)」の実現を目指します。

今後とも、株主・投資家のみなさまの一層のご理解・ご支援をお願いいたします。



株主総会参考書類(要約)

以下は、株主のみなさまのご理解の一助として本年株主総会の参考書類(議案)の要約を記載しています。招集ご通知全編は、01ページに記載のインターネット上の当社企業情報サイト等に掲載している「第125回定時株主総会招集ご通知」をご確認ください。

1 総株主の議決権の数 **3,989,203**個

2 議案および参考事項

第1号議案 剰余金の配当の件

第125期の期末配当につきましては、以下に記載の株主還元の基本方針、当期連結業績および今後の事業展開等を勘案し、以下のとおりとさせていただきたいと存じます。

なお、本議案を承認可決いただければ、第125期の年間配当額は中間配当金を含めて40円となり、前期より20円の減配となります。

期末配当に関する事項

① 配当財産の種類	金銭
② 株主に対する配当財産の割当てに関する事項 およびその総額	■当社普通株式1株につき金 10 円 ■総額 3,994,231,370 円
③ 剰余金の配当が効力を生じる日(支払開始日)	2025年3月27日

株主還元の基本方針(2024年12月31日現在)

当社は、株主のみなさまへの利益還元については、直接的な利益還元と中長期的な株価上昇による“株式トータルリターンの実現”を目指しています。この考え方にに基づき、持続的な成長のための戦略投資を最優先とし、企業価値の最大化を目指す一方で、資本コストを意識しながら投下資本効率を高め、中長期的に配当の増加と株価上昇につなげていくことを基本方針としています。

配当金の決定にあたっては、連結業績、フリーキャッシュフローの状況を重視し、資本政策を反映する指標の一つとして親会社所有者帰属持分配当率(DOE)2.5%以上を目安とした長期安定的かつ継続的な還元拡充を実現します。

なお、自己株式取得については、市場環境を踏まえ、機動的に行う方針としています。

配当金等の推移

区分	第122期 2021年12月期	第123期 2022年12月期	第124期 2023年12月期	第125期(当期) 2024年12月期
1株当たり年間配当額 (円)	50	100 (うち記念配当50)	60	40(予定)
年間配当額 (百万円)	19,974	39,954	23,978	15,985(予定)
連結配当性向 (%)	42.6	116.8	110.2	- (予定)
DOE (%)	4.0	7.0	3.9	2.6(予定)

(注)1. 第125期(当期)の各項目の数値は、本議案が原案どおり承認可決されることを前提としたものです。
2. 第125期(当期)の連結配当性向は、親会社の所有者に帰属する当期損益がマイナスのため表示していません。

第2号議案 取締役11名選任の件

取締役11名全員が本株主総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、指名委員会の決定に基づき、社外取締役7名を含む取締役11名の選任をお願いいたします。

<ご参考>

当社取締役に必要とされるスキル・経験について

当社は、企業使命である「BEAUTY INNOVATIONS FOR A BETTER WORLD(美の力でよりよい世界を)」の実現を最終目標としながら、昨今の急激な外部環境の変化を受け、変化の激しい市場でも安定的な利益拡大を実現するレジリエントな事業構造を目指し、「ブランド力の基盤強化」「高収益構造の確立」「事業マネジメントの高度化」の3つを柱とする「アクションプラン2025-2026」を策定、実行しています。

これら企業使命、経営計画の実現・達成において、取締役会による執行部門の監督、経営に対する助言は極めて重要な要素と考え、その期待役割を高く発揮するべく、当社は、取締役会全体、および各取締役に求める知識・知見を次ページのとおり定めています。

取締役候補者の選任においては、これら求める知識・知見、バックグラウンドや経験等による取締役会全体における高い多様性を獲得することを重視しており、当社取締役は多様なメンバーで構成されています。

本株主総会終結後の社外取締役・女性取締役の比率

社外取締役比率

**63.6%**
(7名/11名)

女性取締役比率

**54.5%**
(6名/11名)

取締役候補者一覧

候補者番号	氏名	現在の当社グループにおける主な地位・担当	候補者属性	取締役に求める 主な知識・知見					
				上場企業トップ経験	企業経営経験	B to C、隣接業界経験	ブランドマーケティング	法務・リスクマネジメント	財務・会計・金融
1	 藤原 憲太郎	取締役 代表執行役 エグゼクティブオフィサー 社長 CEO 日本地域CEO		○	○	○	○		
2	 廣藤 綾子	代表執行役 エグゼクティブオフィサー チーフファイナンシャルオフィサー (最高財務責任者) チーフDE&Iオフィサー	新任取締役候補者		○	○			○
3	 安野 裕美	取締役 監査委員会 委員(常勤)			○	○		○	
4	 吉田 猛	取締役 監査委員会 委員(常勤)			○	○		○	○
5	 大石 佳能子	社外取締役 指名委員会 委員 報酬委員会 委員	社外取締役候補者 独立役員候補者		○	○			
6	 岩原 紳作	社外取締役 指名委員会 委員長 報酬委員会 委員	社外取締役候補者 独立役員候補者					○	○
7	 得能 摩利子	社外取締役 指名委員会 委員 報酬委員会 委員	社外取締役候補者 独立役員候補者		○	○	○		
8	 畑中 好彦	社外取締役 取締役会議長 指名委員会 委員 報酬委員会 委員長	社外取締役候補者 独立役員候補者	○	○	○			○
9	 後藤 靖子	社外取締役 監査委員会 委員	社外取締役候補者 独立役員候補者		○				○
10	 野々宮 律子	社外取締役 監査委員会 委員	社外取締役候補者 独立役員候補者		○				○
11	 中嶋 康博	—	新任取締役候補者 社外取締役候補者 独立役員候補者		○			○	○

本株主総会終結後の体制(予定)			
当社グループにおける主な地位・担当	指名委員会	報酬委員会	監査委員会
取締役 代表執行役 エグゼクティブオフィサー 社長 CEO 日本地域CEO			
取締役 代表執行役 エグゼクティブオフィサー チーフファイナンシャルオフィサー(最高財務責任者) チーフDE&Iオフィサー			
取締役			● 常勤
取締役			● 常勤
社外取締役	●	●	
社外取締役	●	●	
社外取締役	●	●	
社外取締役 取締役会議長	●	●	
社外取締役			●
社外取締役			●
社外取締役			●

主な知識・知見の詳細

-  **上場企業トップ経験**
ステークホルダーとの関係性を考慮し、持続的成長と中長期的な企業価値向上を実現する経営を行う
-  **企業経営経験**
経営環境の変化を見極め、適切な戦略構築を行い、責任ある経営執行を支える
-  **B to C、隣接業界経験**
業界環境を熟知し、適切なポジショニングを行うことで、顧客価値および自社の競争優位性を高める
-  **ブランドマーケティング**
ブランド価値を構築・強化することで、事業の収益性および企業価値を高める
-  **法務・リスクマネジメント**
適切な全社リスク管理およびコンプライアンス確保により、公正・健全な事業活動の基盤を支える
-  **財務・会計・金融**
健全で強固な財務基盤を構築・確保し、事業成長を実現するための経営戦略の適切な執行を監督する

事業報告(要約)

以下は、株主のみなさまのご理解の一助として本年株主総会の事業報告の要約を記載しています。招集ご通知全編は、01ページに記載のインターネット上の当社企業情報サイト等に掲載している「第125回定時株主総会招集ご通知」をご確認ください。当社グループは、第123期から国際会計基準(IFRS)を任意適用しており、第122期の財務数値は日本基準をIFRSに組み替えて表示しています。

当期の経過および成果

当期における世界経済は、地政学リスクの高まり、物価高騰、為替相場のボラティリティ上昇等に伴う先行き不透明感が継続しました。中国では経済成長の減速が進んだ一方、欧州では緩やかな成長が続きました。また、米国では良好な雇用環境を背景に景気は堅調に推移したものの個人消費の勢いに陰りが見られるなど、先行きへの警戒感が高まりました。日本においては緩やかな景気回復となりました。

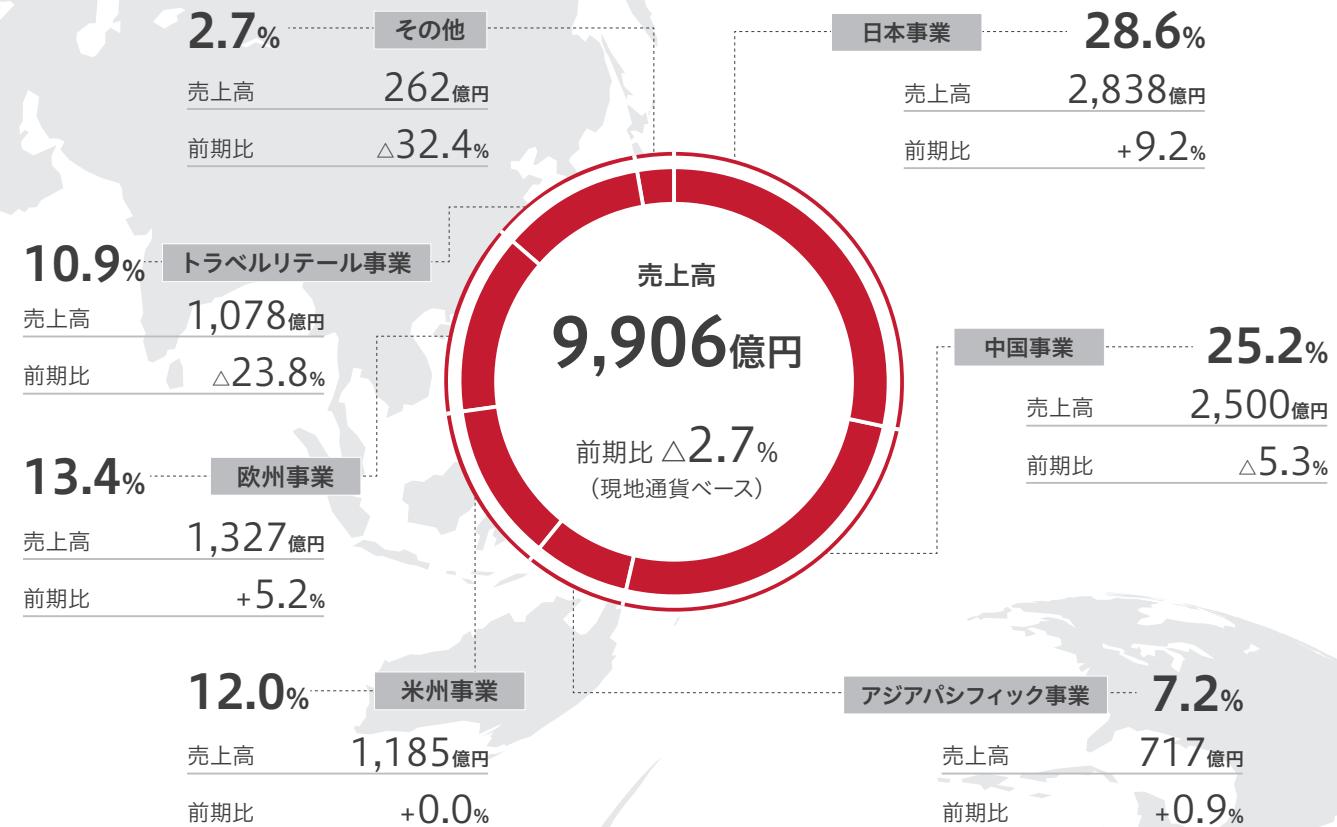
国内化粧品市場は物価上昇が家計の重石になる状況が続くなか、堅調に推移しました。訪日外国人旅行者数はコロナ禍前を上回り過去最高を更新しましたが、旅行者の消費行動の変化を背景にインバウンド消費は想定よりも緩やかな成長となりました。

海外化粧品市場の動向は地域ごとにばらつきが見られました。中国海南島などの免税市場では、規制強化に伴う流通在庫調整の影響は着実に縮小した一方で、中国人旅行者を中心とした消費の減速を背景に、厳しい市場環境が続きました。また中国では、景況感の悪化に伴う貯蓄の増加や消費低下を背景に停滞が続きました。欧米市場は下期に成長鈍化の兆しがみられ、全体としては緩やかな成長となりました。

当社グループは、企業使命「BEAUTY INNOVATIONS FOR A BETTER WORLD(美の力でよりよい世界を)」のもと、環境問題やダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンを中心とした社会課題の解決に向けてイノベーションに積極的に取り組みながら、「Personal Beauty Wellness Company」として、スキンビューティーとウェルネスを融合し、一人ひとりの自分らしい健康美を実現する企業を目指します。そして2030年のビジョン「美の力を通じて“人々が幸福を実感できる”サステナブルな社会の実現」に取り組みます。

当期は、2023年から2025年までの3カ年を中心に取り組む中期経営戦略「SHIFT 2025 and Beyond」の2年目であり、グローバルコスト削減のための構造改革主要アクションの完遂と、グロスプロフィット最大化を追求する体制の構築に取り組みました。日本事業においては、「持続的な成長」、「稼げる基盤構築」、「人財変革」の3つを柱とする経営改革プラン「ミライシフト NIPPON 2025」の実行を通じて、収益性改善を着実に進めており、グローバルでも計画どおりにコスト構造改革の効果創出を実現しました。中国・トラベルリテール事業においては、組織構造の最適化を図るとともに、多様化する市場の変化を捉えた持続的な成長の実現を目指します。米州・欧州・アジアパシフィック事業においては、積極的な経営資源投下により成長加速を図ります。これらを通じ、適正

報告セグメント別売上高



な地域ポートフォリオへの転換を進め、不透明で変化の激しい市場環境にも柔軟に対応できる経営基盤の構築を進めていきます。

2024年11月には、早期の収益性改善と、その後の持続的な成長をより確実なものとするために、次の2カ年で実行する「アクションプラン 2025-2026」を策定しました。変化の激しい市場でも安定的な利益拡大を実現するレジリエントな事業構造を目指し、「ブランド力の基盤強化」、「高収益構造の確立」および「事業マネジメントの高度化」に取り組みます。

当期の売上高は前期比1.8%増の9,906億円、現地通貨ベースでは前期比2.7%減、為替影響、事業譲渡影響および「Dr. Dennis Gross Skincare」買収影響を除く実質ベースでは前期比1.3%減となりました。実質ベースの売上高は、中国人旅行者を中心とした消費の減速により低い出荷レベルとなったトラベルリテール事業や、景況感の悪化に伴う消費低下の影響を受けた中国事業では、前期を下回りました。また、米州事業では、上期に一時的な生産減・出荷減が生じ、第3四半期において生産は安定化したものの、売上回復が遅れ、減収となりました。一方、日本・欧州事業は、成長性・収益性の高い注力領域への積極投資や戦略的マーケティングが功を奏し、力強い成長が継続しました。アジアパシフィック事業は緩やかな成長となりました。

コア営業利益は364億円、2024年11月に公表した業績予想の350億円は超過したものの、前期に対しては35億円の減益となりました。トラベルリテール・米州事業の減益を、日本事業での大幅な増益や、全社を挙げた構造改革効果およびコストマネジメントにて一部相殺しました。また、「その他」は、トラベルリテール・中国事業向けの内部売上高減少に伴う差益減等により減益となったほか、「調整額」は未実現利益消去額の変動影響などにより、減益となりました。

親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期に対し326億円減少し、108億円の損失となりました。コア営業利益の減益や、非経常項目において主に日本事業の早期退職支援プランに関する構造改革費用を計上したことに加え、セラーノート(デットファイナンスの一種。売主が一部融資を行う)に関連する金融費用として128億円の引当金を計上したことが影響しました。なお、当該引当金の計上は2024年のキャッシュ・フローに影響を与えるものではありません。

なお、EBITDAマージンは、9.0%となりました。

報告セグメント別コア営業損益

	(億円)				
	第124期	売上比 (%)	第125期 (当期)	売上比 (%)	増減
日本事業	13	0.5	281	9.9	+267
中国事業	70	2.8	123	4.8	+53
アジアパシフィック事業	51	7.1	60	8.0	+9
米州事業	112	9.7	2	0.2	△110
欧州事業	33	2.7	37	2.6	+3
トラベルリテール事業	171	12.9	50	4.6	△121
その他	△228	△9.0	△249	△10.2	△21
調整額	176	-	60	-	△116
合計	398	4.1	364	3.7	△35

(注) 1. 当期より、当社グループ内の業績管理区分の一部見直しに伴い、従来「日本事業」に計上していた一部業績を「その他」に計上しています。なお、前期のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しています。

2. 売上高における実質増減率は、為替影響、事業譲渡影響および「Dr. Dennis Gross Skincare」買収影響を除いて計算しています。

3. 「その他」に計上しているパーソナルケア製品生産事業に係る売上高は、資生堂久喜工場の譲渡に伴い、2023年4月1日以降、一部を除き発生していません。

4. 「その他」は、本社機能部門、㈱イブサ、生産事業、飲食業およびヘルスケア事業(美容食品の販売)等を含んでいます。

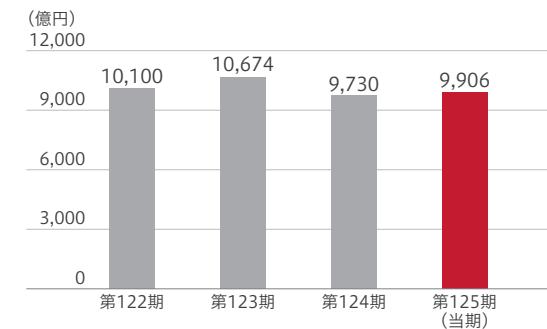
5. コア営業損益は、営業利益から構造改革に伴う費用・減損損失・買収関連費用等、非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しています。

6. コア営業損益における売上比は、セグメント間の内部売上高または振替高を含めた売上高に対する比率です。

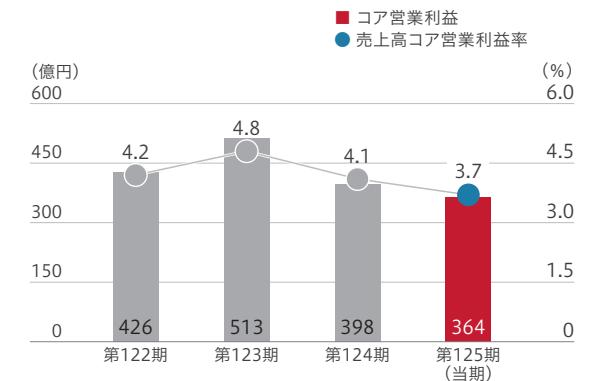
7. コア営業損益の調整額は、主にセグメント間の取引消去の金額です。

連結業績

売上高	
	9,906億円
前期比(増減率)	+1.8%
(現地通貨ベース)	△2.7%
(実質ベース)	△1.3%

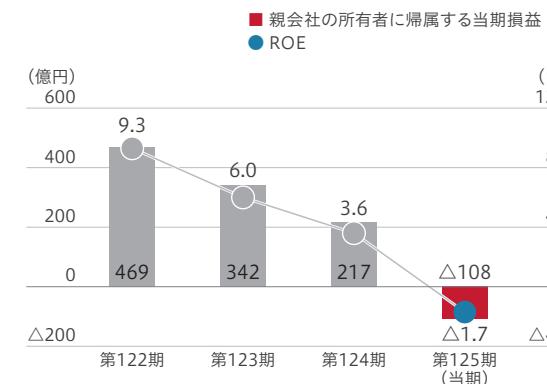


コア営業利益		売上高コア営業利益率	
	364億円		3.7%
前期比(増減額)	△35億円	前期比(増減)	△0.4ポイント



親会社の所有者に帰属する当期損益		ROE	
------------------	--	-----	--

	△108億円		△1.7%
前期比(増減額)	△326億円		



(注) 当期における連結計算書類項目(収益および費用)の主な為替換算レートは、1ドル=151.5円、1ユーロ=163.8円、1中国元=21.0円です。

連結計算書類

連結財政状態計算書 (2024年12月31日現在)

科 目	当 期	前期(ご参考)
資産		
流動資産	477,800	470,014
現金及び現金同等物	98,479	104,685
営業債権及びその他の債権	154,305	149,688
棚卸資産	160,507	149,646
その他の金融資産	28,382	21,956
その他の流動資産	36,125	44,038
非流動資産	854,048	785,483
有形固定資産	294,411	301,838
のれん	108,013	62,143
無形資産	179,390	137,663
使用権資産	104,876	100,548
持分法で会計処理されている投資	2,908	18,449
その他の金融資産	89,556	95,321
退職給付に係る資産	10,261	-
繰延税金資産	54,782	61,187
その他の非流動資産	9,848	8,331
資産合計	1,331,848	1,255,497

科 目	当 期	前期(ご参考)
負債		
流動負債	398,562	368,345
営業債務及びその他の債務	152,199	178,526
社債及び借入金	107,000	50,000
リース負債	21,223	21,916
その他の金融負債	6,391	5,385
未払法人所得税等	3,413	3,553
引当金	4,527	5,847
その他の流動負債	103,807	103,116
非流動負債	278,642	246,758
社債及び借入金	131,620	110,559
リース負債	103,317	98,506
その他の金融負債	20,630	6,482
退職給付に係る負債	5,037	15,055
引当金	1,852	1,227
繰延税金負債	3,640	2,870
その他の非流動負債	12,544	12,056
負債合計	677,205	615,104
資本		
資本金	64,506	64,506
資本剰余金	74,138	74,000
自己株式	△2,325	△1,591
利益剰余金	356,877	380,208
その他の資本の構成要素	139,277	101,624
親会社の所有者に帰属する持分合計	632,474	618,748
非支配持分	22,169	21,644
資本合計	654,643	640,392
負債及び資本合計	1,331,848	1,255,497

(単位:百万円)

連結損益計算書

(2024年1月1日から2024年12月31日まで)

科 目	当 期	前期(ご参考)
売上高	990,586	973,038
売上原価	237,394	259,674
売上総利益	753,191	713,364
販売費及び一般管理費	751,444	696,625
その他の営業収益	8,561	21,023
その他の営業費用	2,733	9,629
営業利益	7,575	28,133
金融収益	8,292	6,734
金融費用	19,186	7,574
持分法による投資利益	2,052	3,744
税引前当期利益又は損失(△)	△1,265	31,037
法人所得税費用	8,028	6,860
当期利益又は損失(△)	△9,294	24,177
当期利益又は損失(△)の帰属		
親会社の所有者	△10,813	21,749
非支配持分	1,518	2,427
当期利益又は損失(△)	△9,294	24,177

(単位:百万円)

(ご参考)

連結包括利益計算書

(2024年1月1日から2024年12月31日まで)

科 目	当 期	前 期
当期利益又は損失(△)	△9,294	24,177
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△273	△823
確定給付制度の再測定	11,816	6,568
持分法によるその他の包括利益	7	68
純損益に振り替えられることのない項目合計	11,550	5,813
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	39,722	30,007
キャッシュ・フロー・ヘッジ	-	43
持分法によるその他の包括利益	△835	△553
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	38,886	29,497
税引後その他の包括利益	50,437	35,311
当期包括利益	41,142	59,488
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	38,375	55,801
非支配持分	2,767	3,687
当期包括利益	41,142	59,488

株主総会会場ご案内図

日時

2025年3月26日(水曜日) 午前10時

場所

東京都千代田区内幸町一丁目1番1号

帝国ホテル 2階 孔雀の間

電話番号 03-3504-1111(代表)



当社は本株主総会より、株主総会会場にご来場くださる株主さまとご来場が難しい株主さまとの公平性等を勘案し、ご来場の株主さまへお配りしていたお土産は取りやめとさせていただきます。何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

最寄駅から会場までのご案内

- JR有楽町駅より徒歩5分
- 日比谷駅(東京メトロ日比谷線、千代田線、都営地下鉄三田線)より徒歩3分
- 銀座駅(東京メトロ日比谷線、丸ノ内線、銀座線)より徒歩5分
- 内幸町駅(都営地下鉄三田線)より徒歩3分

総会会場でサポートが必要な株主さまへ

- 車いすでのご来場の方は、会場内に専用スペースを設けていますので、当日受付でお申し出ください。
- その他、総会会場でサポートが必要な方は、以下窓口にお申し出ください。準備の都合上、2025年3月18日までにお申し出をお願いいたします。
- 資生堂株主さま窓口
<https://corp.shiseido.com/jp/inquiry/mail/form.html>
(お問合わせ項目で「株主・IRについて」を選択ください)



多様な株主のみなさまへの配慮を目的として、招集ご通知の主要なコンテンツをHTML形式でご覧いただけます。

<https://p.sokai.jp/4911/>



UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

